



## 月例山行

### 8 月 6 日 紅 岩

市橋、水野、柴橋、水谷、中村

▲ 現地でマップコンパスの使い方をレクチャー後、午前 9 時 40 分、天祐稲荷の本殿脇から登頂を目指す。途中、読図訓練を実施しながら、岩が連なる急坂を経て約 15 分で紅岩に到着したが、巨岩のへりに近づくには恐怖感を覚える程の絶景である。



同所で小休止の後、比較的初心者の 3 人を残し、尾根等を隔てた若山（標高 491.9m）に向かうルートを探したが、踏跡は極めて薄く、危険なアップダウンも予想されたため、安全登山を優先し下山を選択した。他に登山者無し、歩行距離約 2 km —— 記録：市橋



## 八ヶ岳

### 硫黄岳・横岳・赤岳

8 月 25 日（金）26 日（土）水野（L）、市橋  
桜平⇒峰の松目⇒硫黄岳⇒硫黄岳山荘（泊）⇒横岳⇒赤岳の往復コース

▲ 1 日目：桜平駐車場 7：30 出発。時間に余裕があったため、オーレン小屋から峰の松目を経由し硫黄岳 11：40 着。ガスに遮られ楽しみにしていた爆裂火口は拝めず残念。硫黄岳山荘に早々に到着し生ビールでのどを潤し、明日の行程に備える。

▲ 2 日目：早朝、一面の雲海からのご来光にしばし感動。山小屋を 6：00 に出発し横岳・赤岳に向かう。横岳へは鎖場・梯子・足元は断崖絶壁の難所があり慎重に歩を進



める。赤岳は山頂直下の急登に苦しめられるも 8：45 登頂。富士山の雄姿や絶景に大満足。  
▲ 下りは夏沢峠経由で桜平駐車場に 14：30 無事下山。2 日目は 8 時間半の長時間山行なるも、南八ヶ岳の醍醐味を十分満喫する楽しい山行ができた。 —— 記録：水野



## 富士山 3776m

▲ コロナ禍の沈静化を受けてか、今年は富士山の登山者、そして遭難者も特に多いようだ。山は冬を含め四季を通して楽しめるが、3000m 級の冬山は格別で、冬の富士は別格である。日本一の山、富士山へは外国人の登山者も多い。弾丸登山、サンダル、半袖、半ズボンの軽装も見られると言う。秋から冬、春にかけて、経験の浅い、観光気分の登山者が安易に 3000m 級の雪山へ出かけ、ネットで拡散される。夏山と言えど侮れない。高山は非日常の世界である。何かあったら！、天候、ケガ、体調などアクシデントを織り込んだ計画と技術・体力が必要である。

## 富士山 山頂登山を規制へ 山梨

▲ 1 日目の登山者 4000 人以上が目安に。山梨県側の吉田口登山道。今年、山梨県側の吉田口登山道の 6 合目を通過した人は 7 月 30 日時点で 6 万 3000 人余りで、コロナ禍前の 2019 年よりおよそ 9300 人、率にして 17% の増加。

## 山頂へ 三浦 雄一郎 氏 90 歳

「最高です」三浦雄一郎氏 90 歳 車いす使い富士山の山頂到達。手足まひ...リハビリ目標達成。3 日間の行程で、午後 2 時 40 分ごろ、車いす姿で 5 合目に到着。頂上では、支援した約 40 人の仲間や家族と共に笑顔で「万歳」と手を上げて喜びを分かち合った。次は自分の脚で登りたいとのこと。（ネットではその意義を疑問視する声も……）



8 月 31 日 三浦雄一郎の富士山 90 歳